



耕作放棄地調査と経営体への農地集積に利活用した事例

(1/2)

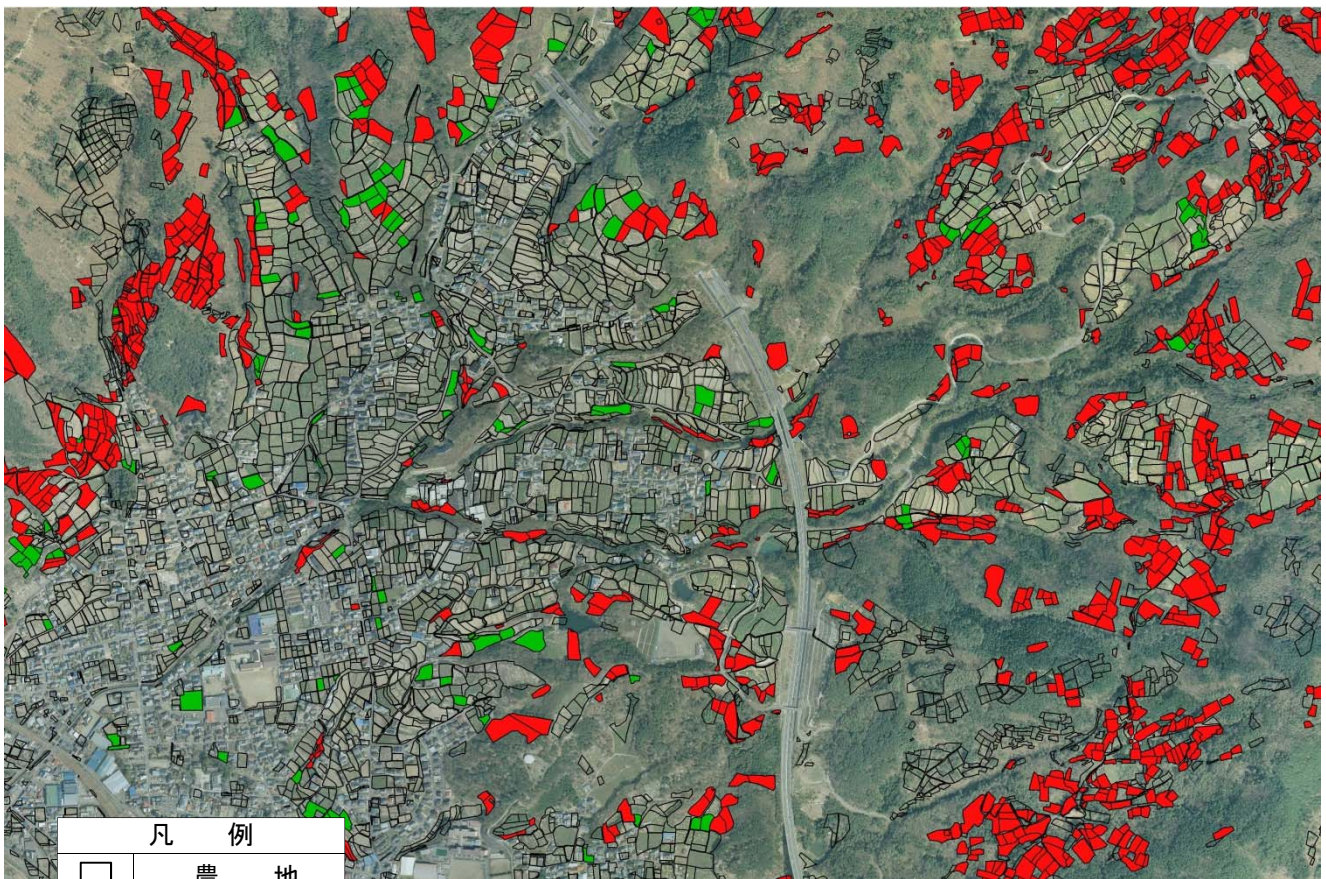
今回紹介する団体：長野県埴科郡坂城町、水土里ネットながの

取組概要

内容：水土里情報利活用促進事業で整備した農地筆データに基づき、耕作放棄地調査図及び人・農地プランの農地利用図を作成。

経緯：坂城町では、耕作放棄地の実態調査を行う際に、手作業により、前年度調査した耕作放棄地の状況を図面に色分けし、調査図としていたため、多大な労力を要していた。

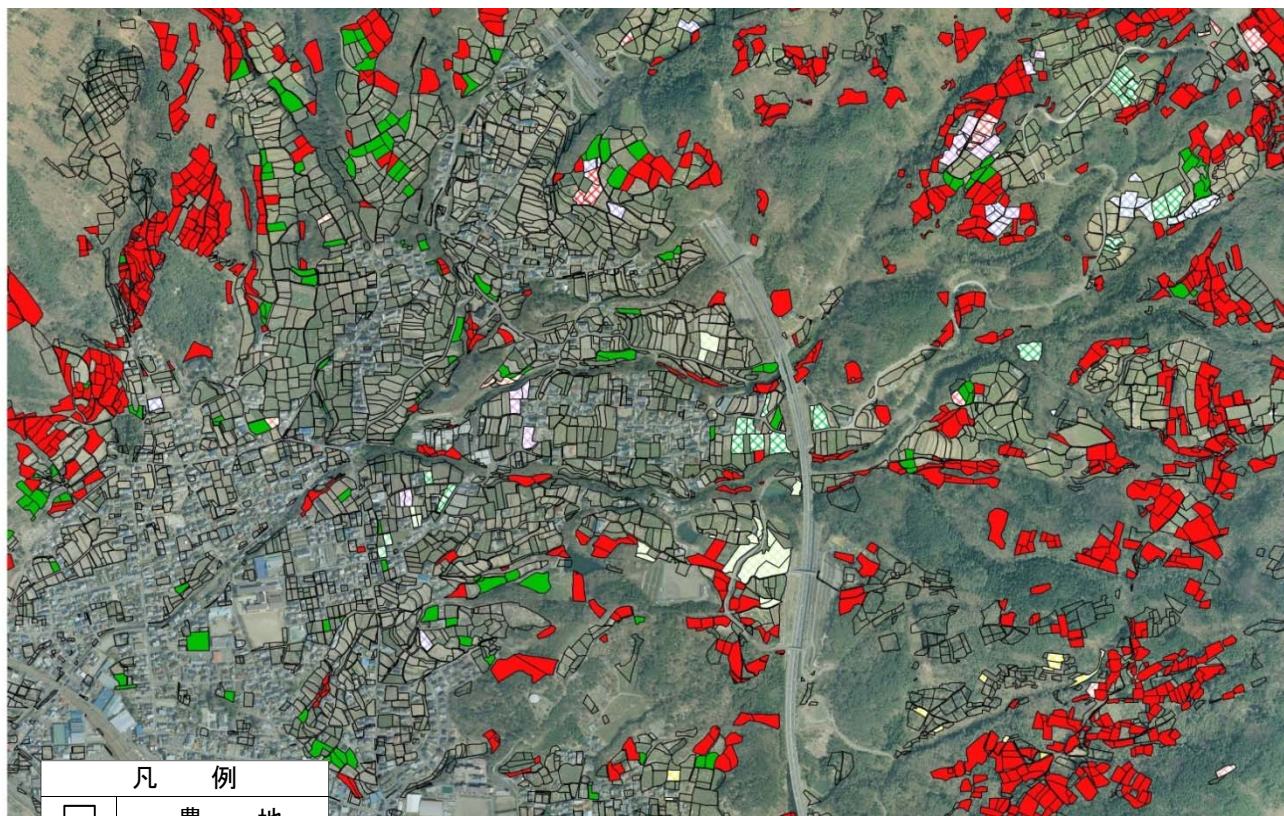
このため、坂城町では、平成23年度から、前年度調査した耕作放棄地の状況を情報として水土里情報に入力し、耕作放棄地調査図を作成し、当該年度の調査に活用することにより、労力の省力化を図った。



耕作放棄地調査図

期待される効果

耕作放棄地調査図と人・農地プランで作成した農地利用図を連携することにより、視覚的に状況を把握することができ、経営体への農地集積とともに耕作放棄地の解消が推進される。



凡 例	
□	農 地
■	再生可能農地
■	再生不能農地
▨	認定農業者

耕作放棄地調査図と農地利用図の重ね図

今後の活用予定

- ①地図による可視化により、耕作放棄地の解消と経営体への農地集積を推進するための情報として、一層活用可能。
- ②坂城町の特産品である「ぶどう」や「ねずみ大根」等の栽培の拡大に向け、作物別栽培状況等の情報を入力することにより、町の営農体系の整備に活用可能。

■お問い合わせ先

長野県土地改良事業団体連合会本部事業課水土里情報センター 026-237-7045(直通)

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(細川、久貝) 03-6744-2201(直通)